

土曜日は運行を継続

バス路線 運休計画

市との話し合いで地域の声を反映



久重の地域公共交通の現行、再編計画、話し合いの結果

		現行	見直し案	話し合い結果	
バス	平日	運行ダイヤ	上り下り各9便	同左	
	土日祝	運行ダイヤ	上り下り各6便	運休	
		通学・通勤定期券の扱い	利用	利用できない	土曜日は現行通り 遠距離通学定期利用者は日祝無料
デマンドタクシー	平日	運行ダイヤ	おでかけおかえり各3便	同左	
		乗換ポイント	自宅⇄小坂峠		
		運賃	200円		
	土日祝	運行ダイヤ	平日と同じ	各4便	日祝のみ各5便
		乗換ポイント		自宅⇄中秦泉寺 ヴェルティス	日祝のみ同左※
		運賃		700円	日祝のみ600円

今後は、10月実施までにデマンドタクシーの運行時間を詰めながら利用方法の周知を図っていくこととなります。もう一つは、今回の再編計画が利用者減によるバス事業者の収支悪化と運転手不足、市の補助金の増加を背景に出されていることから、今後の課題としてバス利用者を増やすための地域の努力・取り組みが必要であることが明らかになりました。

連携協議会は、4月に提示された地域公共交通再編計画について、連携協議会ニュース4月号で地域の声を集約、要望書にまとめて5月25日担当課である高知市交通戦略課と話し合いをもちました。地域からは23人の声がオレンジポストに投稿され、土日祝のバス運休やデマンド見直しの運賃、定期券の扱い、乗車場所などに強い不満・不安の声が出されました。連携協議会は、こうした内容を中心に計画の見直しを求めて話し合った結果、焦点であった土曜日の運休については現行通り運行することになり、祝日のデマンドタクシーも運賃を700円→600円に引き下げることや便数も4便→5便に増便するなど地域の声が一応反映される結果となりました。

デマンド見直しも日・祝日のみに

地域の熱意が行政を動かす！

公共交通再編計画が進められているのは、久重地区など特に利用の少ない市内9区間と聞いています。計画の内容は、バス路線廃止のみのところや土日祝の運休、デマンドタクシーが運行されているところではその見直しも含めて計画されるなど地域によって様々な形態をとっているようです。

久重地域以外はおおむね地域の了解が得られているようですが、久重地域では再編計画をニュースで全戸に知らせる声を拾い、役員会で要望書として集約し、市との話し合いを持ちました。こうした取り組みをしたのは、おそらく久重地域だけだと思えます。

土曜日のバス運休に対して一番反対や困惑の声が出されました。役員会ではその声を中心にデマンド見直しについても出されてきた意見・要望を携えて市と話し合いを行いました。

行政側も私たちの熱意に、バス会社やタクシー会社との折衝、土佐山など関連する地域との調整に真剣に取り組んでくれ、土日祝運休計画を日祝日運休に変更するなど上表にまとめたような結果となりました。

地域の熱意が行政を動かす、一部とはいえ計画案の見直しを実現できたのではないかと考えています。

久重のまちづくり計画 第6回策定会議

- 日時 6月18日(土)18時
- 会場 久重小体育館
- 内容 支え合いの久重づくり

42%を超えた久重地域の高齢化率。住民アンケート調査でも、福祉活動は重要度第3位の地域課題になっています。

現在、「久重型共生社会」の推進に向けて歩みを始めており、まずはオレンジポストの設置により地域の声を行政や専門機関につなぐ活動を行ってきました。

これからは、そうした活動に加え地域のコミュニティで解決しなければならない身近なお困りごとについて、どんなお困りごとがあり、どうやって解決するかといった検討が「久重型共生社会」の推進にとって必要ではないかと考えています。

今回の策定会議は、そうした点を中心に掘り下げてみたいと思います。

意見・要望を市長に提出

今年度の市長との意見交換会(7月29日)に提出する11項目の意見・要望を市に提出しました。結果は8月号で報告します。

デマンド見直し案でも地域に歩み寄り

デマンドタクシーは、現在自宅付近から小坂峠までを200円で運行していますが、ほとんど利用がない状況です。計画では、土日祝バス運休と合わせてデマンドタクシーの運行見直しが示されました。

自転車留め置き場所も検討

市との話し合いの中で、自転車留め置きできる場所についても検討されましたが、利用人数の把握など必要なため、今後話し合っていくこととなりました。

これに対して、①運賃700円は高い、②定期券利用者には負担増、③乗り継ぎポイントの中秦泉寺をさらに延伸④ダイヤ4便の増便などの声がポストに投稿されました。市との話し合いでは、こうした声を反映するよう要望した(100円減)、定期券遠距離通学の定期券利用者は無料、ダイヤ(二便増便)などで地域に歩み寄る結果を得ることができました。

また、デマンドタクシーの愛称が「かわせみ号」となっていますが、これは土佐山地域でデマンドタクシーが運行され始めたときに付いた名称であり、現在は久重地域と一体的に運行されているので、ネーミングも検討してはどうかという意見が出され、それは可能ということになりました。

- ① 地域共生社会を推進するために、行政と地域の連携について意見
- ② いきいき百歳体操に参加する要介護認定を受けている人を保険料滞納者と同じ扱いにしないよう意見
- ③ 土砂災害警戒区域にあって指定避難所として指定すべき。特別警戒区域では防災工事(県単独事業)を行うよう意見と要望
- ④ 通学路で要望しているグリーンベルトの設置や路側帯・センターラインの改修についての見直し
- ⑤ 老朽橋(重倉川)架け替えの見直し
- ⑥ 県道への修景施設の設置と環境面での配慮を要望
- ⑦ 一宮2号線の早期完成を要望
- ⑧ 海岸線沿いの地域だけでなく中山間地域でも国土調査を実施するよう意見・要望
- ⑨ 緑ヶ丘団地専用水道の高知市への移管
- ⑩ 久礼野公民館から久重小までの通学路の補修を要望
- ⑪ スクールバス(タクシーを含む)の運行を要望

生活の足を 守るために

何が 必用 が 考 え て み ら れ て い ま す

公共交通は地域住民の生活の足を守る大切な移動手段です。今回、「地域公共交通再編計画」を聞いて、通学をする児童生徒とその保護者を中心に多くの投稿が寄せられました。改めて、その影響の大きさを知らされました。

久重地域に関する再編計画は、路線バス(北部交通)の土日祝の運休とそれに伴い現行のデマンド型乗合タクシーの見直しを図るというものでした。

再編計画の背景には、利用者の減少によるバス路線の収支悪化と運転手不足、デマンドタクシー導入など効率化を図る努力もむなしく歯止めのかからない補助金の増加があることも明確になりました。しかも、バスやデマンドタクシーを運行するのは、民間事業者。かつてはドル箱路線と言われた路線での収益で不採算路線をカバーしてきた事業者も、収支悪化と補助金もどこまでも当てにできない状況では、特に採算の合わない路線から順番に運行の縮小や撤退の声が出てくるのはある意味当然のことではないでしょうか。

今回の再編計画に対しては市との話し合いを行い、地域への歩み寄りを感じることもできる結果を得ることができましたが、根本的な解決には至っていません。

路線バスやデマンドタクシーの利用者減が根底にある限り、市内の不採算路線のあちこちですでに廃止の話が持ち上がっているように、このまま何もしなければ久重地域にも平日運行まで影響が広がってくる日が来るかもしれません。

利用者を増やすための一人一人の行動や地域の取り組みが必要なことは言うまでもありませんが、デマンドタクシーや中山間地域への移動支援の導入なども含め久重地域の将来的な交通体系について真剣な検討が必要な時期に来ているのではないのでしょうか。

《公共交通の利用状況や補助金に関するデータ》

【交通手段別利用率】 2007年(H19)

- ①自動車 46% ②自転車 27% ③徒歩 15% ④自動二輪 7% バス・電車 4% 鉄道 1%
(説明)「高知市公共交通基本計画」によると、市民の交通手段別利用率(公共交通分担率)では、バス・電車はわずか4%となっています。

【路面電車・路線バス利用者数の推移】2001年(H13)→2020年(R2)の年間搬送人員

- <路面電車>2001年 5,454千人 2019年 5,993千人 2020年 4,291千人
<路線バス>2001年 7,868千人 2019年 3,162千人 2020年 2,088千人
(説明)「高知市公共交通基本計画」によると、20年間で路面電車はほぼ横ばいの利用者数を保っていますが(20年のコロナの影響を除いて)、路線バスは乗客が6割減となっています(20年にはコロナの影響で75%減となっています)。

【補助金の推移】バス1999年(H11)→2020年(R2) タクシー2013年(H25)→2021年(R3)

- <路線バス>とさでん・東部交通 1999年 16,539千円 2020年 169,405千円
北部交通 1999年 4,853千円 2020年 41,733千円
<デマンドタクシー>2013年 4,795千円 2021年 34,017千円
(説明)「地域公共交通再編計画」によると、路線バスに対する市の補助金は20年間でとさでん・東部交通には10.2倍、久重地域を走る北部交通には8.6倍と増加しています。2013年からはデマンドタクシー導入による補助金が新たに始まり、わずか10年足らずで7.1倍に増加しています。久重・土佐山地域には、北部交通とデマンドタクシーが運行されており、それぞれに補助金が投入されています。

《鏡・土佐山線のバス利用状況(鏡・土佐山線)》

出展：地域公共交通再編計画

【平日下り9便の状況】R2.10.1からR3.3.31までの半年間のICデータ乗車人数

- <土佐山庁舎前→川口営業所>この区間に乗車した人数
①便 20.3人 ②便 6.3人 ③便 4.2人 ④便 2.9人 ⑤便 7.2人 ⑥便 3.1人
⑦便 8.9人 ⑧便 5.4人 ⑨便 0.5人

(説明)R2.10/1~R3.3/31の半年間に土佐山庁舎前から川口営業所までのバスに乗った1便毎の1日あたり平均乗車人数を現した数字です。朝1便は通勤・通学を中心に一定数の乗車があります。日中も④⑥⑨便以外はそこそこの乗車があります。

【土日祝下り6便の状況】R2.10.1からR3.3.31までの半年間のICデータ乗車人数

- <土佐山庁舎前→川口営業所>この区間に乗車した人数
①便 5.1人 ②便 3.1人 ③便 4.0人 ④便 3.7人 ⑤便 3.2人 ⑥便 1.8人
(説明)土日祝日は朝1便の5.1人以外は4人以下となっており、このタクシーの定員以下の利用状況であることが「バスでなくてもタクシーで十分」という主張の根拠となっています。

【編集後記】○公共交通再編計画と対峙することになり、改めて利用する人たちにとって生活の足としてなくてはならない存在であることを思いしらされました。同時に、公共交通の現状をみるにつけ、それを守るために地域や個人の自覚と努力が必要であるとも感じました。今後大きな課題として受け止め

地域づくりを進めたいと思います。○5月21日の高知新聞にオレンジポストの記事が載りました。久重の取り組みをアピールできてうれしい思いをしていますが、共生社会づくりはまだまだこれからです。第6回策定会議では身近なお困りごとが話し合われます。福祉の里山へさらに前進!(リン)

《久重地域土日祝のバス利用状況》

出展：地域公共交通再編計画
R3.10.1から同31までの1か月間うち、土日祝の10日間に利用した久重地域の人の数

- ①総人数 33人(10代未満2人、10代11人、20代1人、50代2人、60代以上11人、年齢不明6人)

(説明)土日祝の10日間で利用した人は全部で33人でした。10代と60代以上が11人で最も多く、10代は1便利用が5人で部活や補修などのために利用したと思われます。60代以上は1便利用者はおらず様々な用事で利用したと思われます。

- ②利用回数 48回 ①便 22回 ②便 8回 ③便 3回、④便 11回 ⑤便 2回 ⑥便 2回

(説明)33人が利用した回数は合わせて48回。回数の最も多い人は7回、1回だけの利用者は21人で利用者の約2/3でした。便ごとでは1便の利用が最も多く22回でしたが、それでも1日平均すると2.2人しか利用していない結果となっています。

- ③定期券利用者の利用は7人で、通勤が1人、通学が6人でした。

《オレンジポストへの投稿》

「地域公共交通再編計画」についての意見は、23人の方からオレンジポストに投稿がありました。その内訳は以下の通り。

【投稿者】

- ①保護者 10人 ②生徒 7人 ③その他 6人

【投稿内容】(複数)

- ①バス運行継続、もしくは減便での運行 15人
②デマンド運賃が高い 13人
③定期券利用者は土日祝が新たな負担になる 4人
④デマンド予約制が不便 5人
⑤運行時間が不明、運行便数を増やせ 9人
⑥乗継ポイントの中秦泉寺より先に 3人
⑦自転車の留め置き場所の確保 1人
⑧計画に賛成 1人

飲料水問題 意見交換会

久重地域には自ら水道施設を運営している団体が9団体あると思われます。今まで一度も交流をしたことがありませんでしたが、施設の老朽化や水質の悪化、水量不足など様々な困難や悩みをかかえながらの運営です。

そうした状況を踏まえ、6月に意見交換会を行いたいと考えています。

現在窓口になる人を探しており、そらい次第案内状を送る予定にしています。

<連絡先>

林照男

090-4501-3190



《デマンドタクシーの利用について》

○自宅近くから中秦泉寺またはイオン横サンシャインベルティスの乗継ポイントへ運行する公共交通。途中下車もできます。

○利用には事前予約が必要。出発の1時間前までに第二さくら交通へ予約します。24時間対応で予約できます。朝1番の便を利用するときは、前日17時30分までに予約が必要です。

<第二さくら交通>

- ・フリーダイヤル 0120-03-1241
・電話 088-831-8088

電話予約

久礼野〇番地の〇〇です。中秦泉寺便の10:00着に乗りたくので自宅へお願いします。



予約受付

お迎えの時間と場所を折り返し電話します。



折り返し電話

自宅近くに9時45分にお迎えにあがります。他の予約者がいますので乗合となります。



乗合タクシー

乗り合いながら中秦泉寺バス停まで運行。

